

珠 玉 の 名 曲 に ひ た る ひ と 時

前橋汀子 アフタヌーン コンサート Vol.22

Teiko Maehashi Afternoon Concert Vol.22

2026年

6月28日(日) 14:00開演 (13:15開場)

サントリーホール

Sunday June 28th, 2026, at 2 p.m. Suntory Hall, Tokyo

全席指定
S席 ¥4,000 (税込)
P席 ¥3,500 (税込)

ピアノ: ヴァハン・マルディロシアン

Vahan Mardirossian, piano

グルック: メロディ「精霊の踊り」

歌劇『オルフェオとエウリディーチェ』より

(編曲: クライスラー)

クライスラー: ウィーン奇想曲

愛の悲しみ

中国の太鼓

ラフマニノフ: ヴォカリーズ

プロコフィエフ: ヴァイオリン・ソナタ 第2番 ニ長調 op.94

* * *

ボンセ: エストレリータ

グラナドス: 「スペイン舞曲集」op.37より 第5番『アンダルーサ』

ガーシュイン: 「ポーギーとベス」より

『イツ・エイント・ネセサリー・ソー』(編曲: ハイフェッツ)

フランク: ヴァイオリン・ソナタ 長調



© 岡本隆史

一般発売 2/27[金]

●ご予約/お問い合わせ チケットスペース 03-3234-9999 (10:00~15:00 ※休業日を除く) チケットスペースオンライン
●プレイガイド サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (10:00~18:00 ※休館日を除く) suntory.jp/HALL/
チケットぴあ t.pia.jp / イープラス eplus.jp / ローソンチケット l-tike.com

主催: ヒラサ・オフィス 協力: 株式会社ソニー・ミュージックレーベルズ

※都合により出演者・曲目等が変更になる場合がございますので、予めご了承ください。※未就学児の入場はご遠慮ください。※車椅子でご来場のお客様はチケットスペースまで必ずお問い合わせください。

第22回アフタヌーン・コンサートに寄せて

普段クラシックのコンサートに出かけられない方にも気軽に足を運んでいただける様な、そんなコンサートを開きたいとの思いからはじめた「アフタヌーン・コンサート」もおかげ様で22年目を迎えました。

毎回、多くのお客様に聴いていただき、嬉しい気持ちでいっぱいです。

今回も最新アルバム、ブラームスのソナタでも共演したピアニスト、マルディロシアンさんとプロコフィエフ、フランクのソナタ、そして小品の数々を。

午後のひとときを楽しんでいただけましたら幸いです。

前橋 汀子

前橋 汀子(ヴァイオリン) Teiko Maehashi, Violin

日本を代表する国際的ヴァイオリニストとして、その優雅さと円熟味に溢れる演奏で、多くの聴衆を魅了してやまない。5歳から小野アンナにヴァイオリンを学び、その後、桐朋学園子供のための音楽教室、桐朋学園高校で斎藤秀雄、ジャンヌ・イスナールに師事。17歳で旧ソ連国立レニングラード音楽院(現サンクトペテルブルク音楽院)日本人初の留学生に選ばれ、ミハイル・ヴァイマンのもとで学んだ。その後、ニューヨーク・ジュリアード音楽院でロバート・マン、ドロシー・ディレイ、スイスでヨーゼフ・シゲティ、ナタン・ミルシテインの薫陶を受けた。これまでにベルリン・フィル、ロイヤル・フィル、フランス国立管などの名楽団、メータ、ロストロポーヴィチ、小澤征爾など世界の一線で活躍するアーティストとの共演を重ねている。近年、小品を中心とした親しみやすいプログラムによるリサイタルを全国各地で展開する一方、J.S. バッハ「無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ&パルティータ」や、ベートーヴェン、そしてブラームスの「ヴァイオリン・ソナタ」などにも意欲的に取り組んでいる。CD化にも取り組み、ピアニストのヴァハン・マルディロシアンと、ベートーヴェン「ヴァイオリン・ソナタ全集」、ブラームス「ヴァイオリン・ソナタ全集」がリリースされた。また、室内楽にも積極的に活動しており、ベートーヴェンの弦楽四重奏や、近年では今井信子(ヴィオラ)、横坂源(チェロ)らとの弦楽トリオ等の公演も行っている。著書『私のヴァイオリン 前橋汀子回想録』が早川書房より、最新刊『ヴァイオリニストの第五楽章』が日本経済新聞出版より出版されている。これまでに日本芸術院賞、第37回エクソンモービル(現・ENEOS音楽賞)音楽賞洋楽部門本賞受賞。紫綬褒章、旭日小綬章を受章。使用楽器は1686年製ストラディヴァリウス。



©岡本隆史



ヴァハン・マルディロシアン(ピアノ) Vahan Mardirossian, Piano

1975年アルメニアのエレヴァン生まれ。パリ音楽院を経て、ソリスト、伴奏ピアニストとして活躍し、これまでにイヴリー・ギトリス、ムスティスラフ・ロストロポーヴィチ等世界的な演奏家と共演を重ねてきた。指揮者としてもクルト・マズアに学んで以来、フランス国立管弦楽団やアーヘン交響楽団、ブラハ放送交響楽団、ロシア国立交響楽団などに客演。現在はベルギーのワロニー王立室内管弦楽団の音楽監督と中国の香港市室内管弦楽団の首席指揮者を務めている。日本でもNHK交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、日本センチュリー交響楽団、九州交響楽団などに客演し、いずれも高い評価を得た。ヴァイオリニスト前橋汀子氏とは長年の共演を重ね、2025年にベートーヴェン「ヴァイオリン・ソナタ全集」を、2026年にブラームス「ヴァイオリン・ソナタ全集」をリリース。

2027年のアフタヌーン・コンサートVol.23は、サントリーホール改修工事に伴い、2月に行います。

2027年2月27日[土] アフタヌーン・コンサートVol.23

▶ 情報は追って前橋汀子オフィシャルホームページにて!



馥郁たるロマンの薫り… 真髄を捉えた前橋汀子のブラームス。

前橋汀子 | ブラームス:ヴァイオリン・ソナタ全集

ブラームス: ヴァイオリン・ソナタ第1番ト長調 作品78「雨の歌」
ヴァイオリン・ソナタ第2番イ長調 作品100
ヴァイオリン・ソナタ第3番ニ短調 作品108

【演奏】前橋汀子(ヴァイオリン)、ヴァハン・マルディロシアン(ピアノ) 【録音】2025年7月14-18日 杜のホールはしもと、相模原

2022年に演奏家活動60周年、2023年には拿寿を迎えたヴァイオリニスト、前橋汀子は、2025年2月にベートーヴェンの10曲のヴァイオリン・ソナタ全集を発売して大きな話題を提供しましたが、驚くべきことにわずか1年のインターバルで、今度はベートーヴェンに続く「ドイツ三大B」の作曲家、ヨハネス・ブラームスによる3曲のヴァイオリン・ソナタ全集を世に問います。「雨の歌」の副題を持つ第1番、ロマンティックで愛らしい明るさを持つ第2番、怒りを帯びた激しさを持つ第3番……ブラームスの珠玉の室内楽作品を、前橋は前作でも息の合ったところを聞かせてくれたアルメニア出身のヴァハン・マルディロシアンとともに心を込めて歌い上げます。

Sony Music Japan International



2.4発売

定価 ¥3,300

(税抜価格 ¥3,000)

ハイブリッドディスク

● SICC 19090

DSD & 192kHz/24bit

AutoD ハイレス同時配信